

9. アジア経済交流の推進

□ アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等

アジア地域における貿 易・投資等の経済活動を 促進するため、当該地域 の情報を収集し、刊行物 やウェブサイト等を通じ て提供します。

https://www.near21.jp/



ホームページでも公開

10. 富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

■ 富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

海外ビジネスに関する実務経験が豊富なアドバイザーを配置し、 「富山県海外ビジネスサポートデスク」と連携を取りながら、アジア 地域を中心とする海外販路開拓や海外進出に挑む県内企業の皆様 をバックアップします。

富山県海外ビジネスサポートデスク

○**富山県バンコクビジネスサポートデスク**(北陸銀行バンコク駐在員事務所) 23rd Floor Unit 2314, Bhiraj Tower at EmQuatier, 689 Sukhumvit

Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-8495

○**富山県台北ビジネスサポートデスク**(ジェック経営コンサルタント台北事務所) 台北市信義區信義路五段5號4樓4B14室 TEL:+886-2-2725-5918

11. 貿易・投資コンサルティング

アドバイザーによるコンサルティングや 「中国研究会」の開催



アジア地域・貿易等に関す る専門知識や実務経験が豊 富なアドバイザーが、貿易や 海外進出などについてのご 相談に応じ、アドバイスしま す(事前予約制・無料)。

	貿易投資アドバイザー	
)	中 国	藤野 文晤
-	東南アジア	鎌田 慶昭
	ロシア	森岡 裕
	東南アジア	宮本 敏和
	中 国	稲田堅太郎



また、県内企業等などからの要請に応じセミナー講師を派遣します。 中国への理解を深め、中国に関心のある県内企業の情報交換の 場とすることを目的とした勉強会「中国研究会」を毎月1回開催し ています。

12. 海外市場開拓の支援

■ 販路開拓の挑戦支援(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者の販路開拓を支援するため、海外で開催される 展示会への出展、現地での市場調査等に対し助成します。



国外市場開拓		
助成率	1/3	
限度額	50万円	
助成期間	最長2箇年度	

■ 海外バイヤー招へい商談会の開催

海外からバイヤーを招へいし、県内中小企業の商品・技術を広 くアピールします。

○2019年度予定

海外バイヤー招へい商談会

富山県及び岐阜県、長野県が連携して、海外からバイヤーを招へいした商談会を開催期間:2019年7月

■ 経済交流ミッションの派遣

主にアジア地域の投資環境や 経済・物流の動向を探るためミッション団を派遣します。現地では 政府機関や企業を訪問し、双方 のビジネスチャンス拡大に向け、 率直な意見交換を行います。



13. 富山県ものづくり総合見本市の開催

国内外のものづくり技術や製品を幅広く展示し、経済・ビジネス 交流の拡大を図るため、「富山県ものづくり総合見本市2019」を開催します。

会 期	2019年10月31日(木)~11月2日(土)
会 場	富山産業展示館(テクノホール)
主 催	富山県ものづくり総合見本市2019実行委員会
参加国·地域	中国、台湾、東南アジア 等(予定)
対象分野	工作・産業機械、自動車関連、精密機械、電子・電機、 鋳造・金型、金属加工品、ブラスチック、アルミ、IT、化学、 医薬品、伝統工芸、食品加工、繊維、デザイン産業 等

CASE 3

かね七株式会社 〈総務部〉 石黒 文敏 氏

● 富山県海外販路開拓サポートデスク

▶P.10 ● 販路開拓挑戦応援事業(国外)

▶P.10 ●海外バイヤー招へい商談会

アジアの国々に魚介系のうま味を伝え 市場を拡大。いずれは欧米も!

主に魚介類のだしや加工品の製造販売を行っている同社では、海外市場の開拓や拡大を図るため、東南アジアの国々を中心で販促活動を展開。ミャンマーでは、首都ヤンゴンに、個人商店から発展し、現在では代理店の役割を担う企業はあるものの、ヤンゴン以外での取扱店は少なかった。同社は、販路開拓挑戦応援事業(国外)を活用したヤンゴンで小売店開拓のためのプロモーション(平成28年度)ほか、Japan Expo 2018 YANGONに参加(同30年度)して、消費者へのPRに努めた。また、平成27年、29年に参加した海外バイヤー招へい商談会で出会った、中国やアメリカ等からの招へいバイヤーと商談がまとまり、輸出につながった。

海外展開に携わる石黒文敏氏は、「富山県海外販路開拓サポートデスクでの、海外ビジネス経験が豊富でアジアの販路開拓に詳しいアドバイザーからの助言は本当に頼もしい。今後は、シンガポール、マレーシア、タイへの輸出に挑戦したいと考えているので、支援をお願いしたい」と意欲的に語った。

PYAE PYA

▲Japan Expo 2018 YANGONに参加した際 のかね七のブース。代理店 のスタッフともに、現地の 言葉に翻訳したパンフレッ も用意し、一般消費者に 同社のだしを紹介した。 ▼生産設備をHACCP対応型に整備しつつあるかね七の本社・工場。「いずれは欧米の市場もうかがいたい」と石黒文敏氏は抱負を語る。



